

日本共産党は、 郡市長の予算に 賛成しました。

新たな前進つかったこと評価

ふるくぼ和子議員の討論(抜粋)

新年度の予算は、郡市長が初めて編成する予算として大変注目されました。施政方針で市長は「子どもたちが健やかに育ち、学びながらこのまちに愛着を抱き、将来への希望を膨らませることが出来る環境づくりに力を注ぐ」と述べられました。新たに35人以下学級の学年拡大に足を踏み出し、いじめ防止の取り組みをはじめ、子ども食堂への支援の強化などの具体策を打ち出したことは、市民に新しい希望を指し示しました。

また、復興公営住宅の家賃減免継続では、郡市長の決断が新しい道を切り開きました。被災者のみなさんと直接面会し要望を聞き、継続を決めたことは、まだ多くの不安を抱えている被災者にとって、何よりも朗報となりました。このことは同時に、県内の他の自治体も励まし、推

進役としての仙台市の役割の大きさも示しました。

第13号議案、平成30年度仙台市一般会計予算につきましては、市民の声にこたえ、公約実現の立場で郡市政が、新年度予算案で新たな前進面を作ったことを評価し、賛成するものです。

一方で、低所得世帯に対する、入学準備金や入学祝金、修学旅行援助金を廃止する提案がありました。

この制度を受けていた世帯にとっては、一時的なわずかなお金であっても、少しでも安心して新入学を迎えられる、新入学のお祝いをできる、友達と同じ様にお金の心配なく修学旅行を楽しめるという、特別の価値を持つものです。対象者にもれなく直接手元に届けることが出来る本市の優れた貧困対策の施策です。これらの制度の継続の再検討は避けて通れない課題です。修学旅行援助金は新年度予算の枠内で支給は

仙台市議会第1回定例会が3月14日、閉会しました。郡和子市長がはじめて編成した本格予算。最終日本会議で日本共産党は、新年度予算に賛成しました。他会派も賛成し、全会一致で可決されました。採決に先立ち、ふるくぼ和子議員が討論に立ちました。



討論を行う、ふるくぼ議員=3月14日

十分可能ですから、当面迫っている修学旅行に間に合うように、再考を強く求めておきたいと思えます。

※このほか、国民健康保険条例の一部改正条例は、最高限度額を引き上げるもので反対しました。

介護保険条例の一部改正条例は、保険料を値上げするもので反対しました。

市立中山保育所と南光台北保育所を民営化する条例案にも反対しました。



提案説明を行う庄司議員=3月14日

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

日本共産党の6人の議員が提案した意見書です。日本共産党、社民党、アムニティ仙台などが賛成しましたが、自民党や公明党などの反対で否決されました。採決に先立ち、日本共産党の庄司あかり議員が提案説明、社民党のひぐちのりこ議員が賛成の討論を行いました。



花木議員(左端)の激励に多くの市民が駆けつけた=3月9日

わたなべ拓議員(自民党・太白区選出)に対する懲罰動議

2月27日開催の予算等審査特別委員会で、自民党・わたなべ拓議員が質疑中に突如「日本共産党は自由と民主主義の政体を暴力革命により転覆するような考え方」と繰り返し発言しました。これに対し、日本共産党と社民党の議員は、公党を誹謗中傷したとして、わたなべ拓議員に対する懲罰動議を提出しました。共産党と社民党、アムニティ仙台が賛成しましたが、自民党、公明党などの反対で否決されました。

自民党などは、日本共産党・花木則彰議員に対し、わたなべ拓議員の質問を妨害したなどとして、花木議員に対する懲罰動議を提出。これは、継続審査となっています。